

障がい者支援スタッフとは



障がいのある人が、障がいのない人と同じように教育・研究活動に参加できるキャンパスをつくることを目的として活動しています。

障がいのある人に対する直接的な支援だけでなく、環境整備も含めた様々な活動を、有償ボランティアとして行っています。

支援スタッフ登録者 約104名（学部生・院生が在籍）

利用学生 15名（視覚3名、聴覚4名、肢体2名、発達1名、その他5名）2021年5月末現在

※ この制度を利用していない障がいのある学生も本学には在籍しております。



聴覚障がい学生への支援

パソコンテイク

パソコンテイクとは、授業の音声情報を支援スタッフ2～3名が連携してパソコンに入力し、利用学生が視覚的に授業内容を理解できるような情報支援の方法です。

授業支援においては、授業担当教員との連携を密に図りつつ、教員と利用学生の橋渡しになるように行っています。



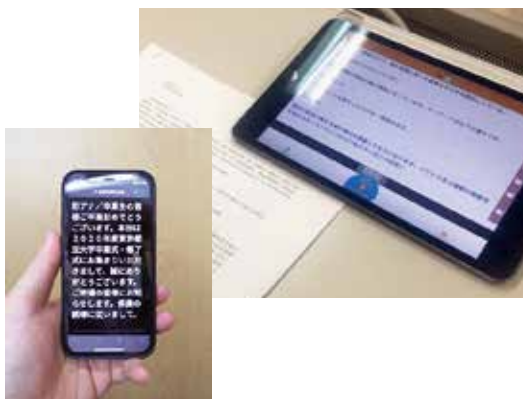
文字起こし・字幕挿入

授業や大学の広報活動で用いる音・映像データについて文字化しています。人の話す声以外の音情報も文字化することで、情報面でのユニヴァーサルデザインを目指した活動です。



音声認識ソフト

専用マイクが拾った声をソフトが自動的に文字に変換します。支援スタッフは誤変換等を修正します。



学外からの評価

本学での聴覚障がい学生支援の取組みが評価され、第14回日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウムで**新人賞**を受賞しました。



視覚障がい学生と肢体不自由学生への支援

資料の電子データ化

教科書等の印刷された文字情報を電子化しています。このことで、点字ディスプレイや音声読み上げソフトへの対応、タブレット端末などで拡大して文字を読むようにしています。



点訳

授業や研究で扱う文字媒体について点訳化の作業を外部業者に委託しています。学生たちで点字の背表紙などの装丁作業をしています。



代筆

肢体不自由の学生でノートをとるのが困難な学生に対し、代わりにノートをとる作業を行っています。



移動支援

視覚障がい学生、車いす学生の学内の移動をサポートします。



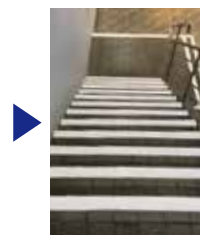
拡大読書器の利用

文字の拡大や色の反転を行い、読書や筆記の補助をします。弱視学生が利用しています。



施設整備

学内の点字ブロックの敷設や、段差が分かりにくい階段にラインを引く等の整備を行いました。



講習会の開催

手話講習会

支援学生達の自主勉強会の他にも、外部から講師を招き、初歩から手話を学びます。前期・初級コース8回、後期・中級コース8回を通して、自己紹介や簡単な会話ができるようになります。



バリアフリー講習会

障がいのある人や専門家を招き、障がいのある人と社会の間にある問題について考えることで、ダイバーシティや障がいに関する理解を深めます。例年2～3回程度開講しています。



パソコンテイク講習会

聴覚障がいのある学生の授業における情報支援活動のための養成講座です。専門的なソフトの使い方のみならず、聴覚障害の特性やその支援の考え方について学びます。



支援スタッフ勉強会

支援スタッフが講師を務め、障がい学生支援や自身の体験、気になっているテーマなどについてお互いに話をすることで、多様な考えのあり方について理解を促進しています。

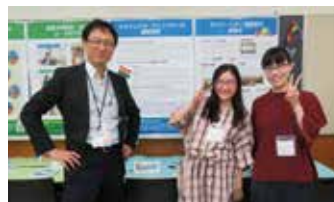


イベントと交流

定例会・振り返り会・よるダイバー



オープンキャンパス



交流会・フィールドワーク

